

「亥の子」について

1年1組 黒田 春樹 1年1組 山下 竣丸
1年2組 小越 大
指導者 教諭 水谷真砂美 教諭 井上 真介
教諭 中川 彩矢

1 課題設定の理由

身近に行われている行事である「亥の子」について、子供の頃には特に深く考えず、ただ黙々と行っていただけだったが、この機会に、この行事にどのような意味があるのか、また、日本の各県によってどのような内容の違いがあるのかということについて、詳しく知ろうと思ったため、この課題を設定した。

2 仮説

- (1) 歌詞の内容から、亥の子は豊作などを神様に願う儀式のようなものだと考えられる。
- (2) 自分たちの地域でも内容に小さな違いがあるので、日本各地の地域によっては、大きな違いがあると予測される。また、亥の子を行っていない地域もあると考えられる。

3 実験・研究の方法

- (1) インターネット・歴史書を使った文献調査
- (2) 宇和島東高校1年普通科・理数科生徒158人を対象としたアンケート
- (3) 地域の人への聞き取り

4 結果と考察

(1) 結果

ア 亥の子について

亥の子は、旧暦10月（亥の月）上旬の亥の日のこと。あるいは、その日に行われる年中行事である。玄猪、亥の子の祝い、亥の子祭り、とも呼ばれる。

イ 亥の子の行われる地域

主に西日本で見られる。(図1・2参照)しかし、例外などもあり、西日本の中でも行われていない地域・地区なども存在する。

ウ 亥の子の内容

行事の内容としては、亥の子餅を作って食べることにより万病除去・子孫繁栄を祈る、子供たちが地区の家の前で地面をついて回る、などがある。例外などもあり、地域によっては亥の子餅を作って食べたりせず、子供だけでなく大人も地区の家を回ったりする。報酬としてお金を貰う地域や、先にでてきた亥の子餅を貰う地域などもあるが、一方では、報酬などを全く貰わない地域もある。(アンケート参照)



図1

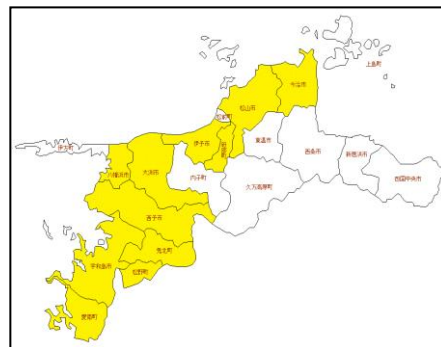
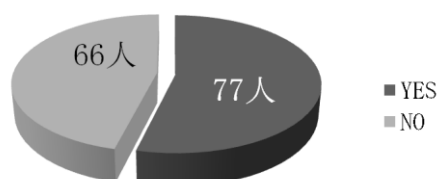


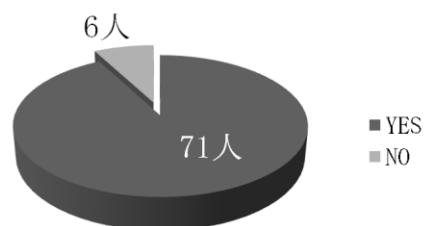
図2

エ アンケート結果（有効回答者数 143 人）

「亥の子をしたことがあるか」



「報酬（お金）をもらっていたか」



オ 亥の子に用いられる主な道具

基本的には亥の子石を使用するが、最近では地面がアスファルトやコンクリートの住居が増えてきたため、わらをたばねて作った物を亥の子石の代わりに使うこともある。

カ 亥の子歌の歌詞

度合いに差があるものの、県が違くと歌詞にも多少異なる点がある。また、愛媛県の今治市と松野町の間で異なるだけでなく、松野町内の松丸地区と豊岡地区の間でも歌詞が異なる、というように、市や町などが違くと歌詞にも違いがあり、地区によっても小さな違いが生まれてくる。

（例1）今治市伯方町木浦地区の歌詞と、松野町松丸地区の歌詞では、数え歌の部分では共通する点があるものの、その他の部分は大きく異なる。

（例2）松野町の松丸地区と豊岡地区では、歌詞の長さに違いがある。

(2) 考察

亥の子という行事は長い年月の間で、地区から他の地区、また、地区の中でも次の世代へと受け継がれて行く中で、その地区ごとの変化が繰り返され、大きな違いが生まれたと考えられる。また、その変化には、地区ごとの特色も影響していると思われる。

5 まとめと今後の課題

地域によって、亥の子の内容、用いられる道具、歌われる歌詞、などの様々な点に違いがあることが分かった。今後の課題としては、今までどのようにして、どのような変化を繰り返しながら、亥の子が受け継がれてきたかということや、今回の研究で調べることの出来なかった、道具の性質や亥の子を行う時間帯などの細かい部分まで調べ、これからも自分たちの地域の行事に注目して積極的に参加し、亥の子の変化を見守り、次世代に伝えていきたいと思う。

6 参考文献

- ・いのこ（亥の子）調査隊

http://ww3.tiki.ne.jp/~otya/contents/13_chosa/inoko.htm